

生研ニューズ

☆講 演☆

- ◇教授 丸安隆和, 助手 大島太市「Short Range Photogrammetry of Objects in Motion」An Invited Paper of Comm. V, International Society of Photogrammetry, Lausanne, Switzerland (July 15, 1968)
- ◇助手 大島太市「International Report of Comm. V」(Special Application of Photogrammetry) International Society of Photogrammetry Lausanne, Switzerland (July, 10, 1968)
- ◇助手 大島太市「Photogrammetry applied to the historical Monuments and Architecture」International Society of photogrammetry Lausanne, Switzerland (July 12, 1968)
- ◇助手 大島太市「Satellite Triangulation in JAPAN」International Society of Photogrammetry, Lausanne, Switzerland (July 15, 1968)
- ◇教授 丸安隆和, 助手 太島太市「On the application of Photogrammetry in JAPAN」Czechoslovak Society of Photogrammetry, Praha, CSSR (Aug. 5, 1968)
- ◇助手 大島太市「Measurement of the Fire Deformation by Pyotogrammetry Film show and Lecture at the Loyal Institute of Technology, Stockholm, Sweden (Sep. 16, 1968)
- ◇助手(特別研究員) 合田周平「Decision Mechanisms by the Neural Model, IMCTRON」IEEE Pottern Recognition Workshop, オランダ, デンバークにおいて (1968. 8. 13)
- ◇助教授 高橋 浩, 助手 堤 和男「ゼオライト触媒の静電場の熱的測定(第2報) シリカ/アルミナモル比の影響」第23回触媒討論会, 宮城県民会館において (1968. 10. 8)
- ◇教授 山辺武郎「イオン交換膜概説」1968 化学プラント技術会議, [5] イオン交換膜の応用技術において司会および講演, 農協ビルにおいて (1968. 10. 9)
- ◇助教授 三木五三郎「日本の土の工学的分類法について」第23回土木学会年次学術講演会, 名古屋大学において (1968. 10. 11)
- ◇助教授 河添邦太郎, 大学院学生 呉 建極「活性炭触媒における沃素-水素反応」化学工学協会秋季大会, 名古屋工業大学において (1968. 10. 13)
- ◇助教授 河添邦太郎, 研究嘱託 川井利長「核燃料再処理廃ガス中の放射性希ガスの吸着除去」同上, (同上)
- ◇助教授 河添邦太郎, 大学院学生 黒沢勝利「錯体抽出に伴う反応速度」同上, (同上)
- ◇講師 荒木献次「カファイードバック空気圧サーボ弁の発振機構」第11回自動制御連合講演会, 前刷 p. 215~216 東工大教育養成所において (1968. 10. 17)
- ◇教授 尾上守夫, 助手 市川初男「SMD 電磁検査への応用」秋季大会(日本非破壊検査協会) 府立商工会館において (1968. 10. 18)
- ◇教授 尾上守夫, 技術員 小林洋一「渦流検査用貫通型コイルの磁界」同上, (同上)
- ◇教授 尾上守夫, 助教授 高木幹雄「渦流検査における多重信号処理」同上, (同上)
- ◇教授 尾上守夫「探触子の絶対感度較正法」同上 (1968. 10. 19)
- ◇教授 尾上守夫, 助手 山田博章「二周波探触子」同上, (同上)
- ◇教授 尾上守夫, 受託研究員 熊谷 雅「エネルギーとじこめ型多重モード振動子のオーバートーン」電子通信学会全国大会, 早稲田大学において (1968. 10. 20)
- ◇教授 尾上守夫, 助手 十文字弘道「たて屈曲多重モード振動子の諸特性」同上, (同上)
- ◇教授 尾上守夫, 技術員 小林洋一「円柱導体を含む有限長ソレノイド・コイルの磁界分布」同上, (同上)
- ◇教授 尾上守夫「多重モード振動子のフィルタ, 発振器およびパラメトリック素子への応用」同上, (同上)
- ◇助教授 根岸勝雄, 助手 山崎正之「ブラッグ反射を用いた超音波の音速と吸収の測定」第29回応用物理学会, 九州大学に

おいて (1968. 10. 20)

- ◇教授 尾上守夫, 大学院学生 砂山益輝「低周波メカニカル遅延線路」電子通信学会全国大会, 早稲田大学において (1968. 10. 21)
- ◇教授 尾上守夫, 助手 山田博章「VHF うずまき共振器」同上, (同上)
- ◇教授 尾上守夫, 助教授 高木幹雄, 東京電力KK 大野 豊「配電システムの監視方式の一試案について」昭和43年電気学会東京支部大会, 工学院大学において (1968. 10. 26)
- ◇助教授 高橋 浩, 助手 堤 和男, 技官 池本美佐子「ゼオライト触媒の酸性度および酸強度分布」第21回コロイドおよび界面化学討論会, 京都大学において (1968. 11. 1)
- ◇教授 植村恒義, 大学院学生 宮崎俊行「レーザ加工」昭和43年精機学会秋季大会学術講演会, 熊本大学において (1968. 11. 2)
- ◇助教授 佐藤壽芳「地震工学における統計的方法」第18回応力連合講演会, シンポジウム「応用力学における統計的方法」都立大学において (1968. 11. 8)
- ◇助手(特別研究員) 合田周平「ロボットと海洋開発」ロボットロジー・シンポジウム, 東京電機大学において (1968. 11. 8)
- ◇助教授 佐藤壽芳「地震に対する応答計算の信頼幅について」第18回応力連合講演会, 同上 (1968. 11. 9)
- ◇助教授 三木五三郎「総則と予備調査について」日本材料学会の地盤薬液注入工法講演会, 科学会館講堂 (1968. 11. 12)
- ◇教授 鳥飼安生, 技官 李 孝雄「超音波による金属圧延板の応力ならびに異方性の測定」NDI 第2分科会, 日本鋼管 KK において (1968. 11. 22)

☆受 賞☆

- ◇第4部 石田洋一助教授は「薄膜透過電顕法による金属結晶粒界構造の解析」に対して, 昭和43年度“松永研究助成金”を受けた (1968. 12. 1).

☆日米合同セミナー☆

- ◇「確立過程の工学への応用」に関する第2回セミナーが9月19日~24日の間, Washington, D. C. にて開催された。これは1966年5月に東京で開催されたものに続くものである。日本からは東大工学部磯部孝教授のほか8名, アメリカからはブルックリン工科大学 Kozin 教授ほか10名が出席し, system identification, response などについて, 討論に重点を置いて行なわれた。当所から第2部柴田 碧助教授が参加した。

☆寄 稿☆

- ◇助手 大島太市「写真測量による近接物体の精密測定」土木建設 17, 1, p. 53~62 (1968. 1)
- ◇教授 丸安隆和, 助手 大島太市「Short Range Photogrammetry of Objects in Motion」An Invited Paper of Comm. V, International Society Photogrammetry, Lausanne, Switzerland (July, 1968)
- ◇助手 大島太市「写真測量による測定の最近の2, 3のトピックス」土木建設 17, 7, p. 33~40 (1968. 7)
- ◇教授 山辺武郎, 大学院学生 飯田 貴也, 技官 高井 信治「Studies on the Thin Layer Chromatography of Condensed Phosphate」Bull of the Chemical Society Japan 41 p. 1959~1960 (1968. 8)
- ◇助教授 三木五三郎「土質用語・記号および土質試験法に関する最近の事情」土と基礎 16, No. 8, p. 47~50 (1968. 8)
- ◇教授 鳥飼安生「超音波」実験物理学講座, 音響と振動, 9 p. 225~322 共立出版 (1968. 10)
- ◇助手(特別研究員) 合田周平「海洋開発とエレクトロニクス—海城工学研究会の活動」エレクトロニクス協議会会報, 1968. No. 32, pp. 19~29 (1968. 10)
- ◇助教授 三木五三郎「土の名前」建設の機械化, No. 224, pp. 58~59 (1968. 10)

☆海外渡航☆

☆所内人事☆

◇第1部 辻 泰 助教授はアメリカ、ピッツバーグで開催される第15回全国真空シンポジウムに出席し、またカナダにおいて同会議に関連する諸問題の調査研究のため、10月27日出発し12月4日帰国の予定。

◇第2部 小川正義教授は退職した(1968.10.31)。



東京大学生産技術研究報告刊行

第19巻 第1号 小林昌敏 著

STUDY ON METALLURGICAL APPLICATION
OF RADIOACTIVATION METHOD

冶金学における放射化法の応用

1957年以降著が行なった金属および合金の放射化分析法の技術に関する研究および放射化分析を応用した金属学的な研究を集約した報告である。第2章で放射化分析法の原理と方法を、第3章でオートラジオグラフィの原理と方法を概説したのち、第4章以降第11章にわたって著者の行なった一連の研究報告が収められている。

第4章では純アルミニウム中に含まれる各種不純物元素について、 γ 線スペクトロメトリーのみを応用した「非破壊的」放射化分析法について報告したあと、第5章では純アルミニウム中の不純物元素の放射化分析において放射化後化学的な分離操作を加える方法およびアルミニウム精錬工程での不純物分析の実用的方法を検討している。

第6章ではアルミニウム2元系合金帯溶融精製を研究するのに帯溶融処理を行なった試験片の放射化して長さ方向における添加元素や不純物元素の濃度分布をしらべ、またオートラジオグラフィにより試験片断面におけるこれらの元素の分布を検討している。

第7章～第9章では加速器を用いたアルミニウムおよびアルミナ中の酸素の放射化分析法について報告し、アルミニウム酸化皮膜の厚さの決定やSAP合金の酸素の定量も行なっている。

第10章では含ウラン炭素鋼中のウランの放射化分析、第11章ではモリブデン中のホウ素の放射化分析の研究について報告し、オートラジオグラフィの結果をも示している。
(1968年11月16日発行)

筆 者 紹 介

- ◇小瀬 輝次 (Teruji OSE) 助教授 工博 専攻 応用光学
- ◇富永 五郎 (Goroh TOMINAGA) 教授 工博 専攻 高空工学
- ◇岡本 舜三 (Shunzo OKAMOTO) 教授 工博 専攻 構造力学, 耐震工学
- ◇田村重四郎 (Choshiro TAMURA) 助教授 専攻 同上
- ◇久保慶三郎 (Keizaburo KUBO) 教授 工博 専攻 生産施設防炎工学, 土木構造学
- ◇田中 尚 (Hisashi TANAKA) 教授 工博 専攻 建築生産学
- ◇岡田 恒男 (Tsuneo OKada) 助教授 工博 建築構造学
- ◇佐藤 壽芳 (Hisayoshi SATO) 助教授 工博 専攻 切削工操作学
- ◇原 文雄 (Fumio HARA) 大学院学生 専攻 原子炉工学
- ◇丸安 隆和 (Takakazu MARUYASU) 教授 工博 専攻 写真測量学

出版委員 出版委員長 鈴木 弘 委員 *小倉 馨夫 根岸 勝雄 平尾 平収	委員 森 政弘 安田 靖彦 生駒 俊明 *吉田 裕	委員 明石 和夫 高橋 浩 川股 重也 *印当番委員	専門委員 星野 昌一 浜崎 襄二 井口 昌平 編集室 水野 晴明
---	------------------------------------	-------------------------------------	---

第20巻 第12号

生 産 研 究

(本誌は生産技術研究所の研究紹介誌として、毎月1回発行する)

1968年12月1日 発行

印刷所 三美印刷株式会社
東京都荒川区西日暮里5-9-8

頒価 290円

発行者 東京大学生産技術研究所
郵便番号 106

編集者 鈴木 弘
発行所 菊池 眞 一

東京都港区六本木7-22-1
電話 (402) 6231 (大代表)
千葉県弥生町1-8
千葉実験所 電話 千葉 (51) 8311 (代表)